

The 3rd mASEANa Project conference, 2017, Tokyo, Japan

アセアンと日本の近現代建築遺産 - 国立西洋美術館の世界遺産登録を記念して -



2017年3月12日(日) 10:00-17:30 ※入場無料/定員100名(自由席・先着)・当日9:30より整理券配布

主催: DOCOMOMO JAPAN (mASEANa 実行委員会)

共催: 独立行政法人国際交流基金

後援: 日本イコモス国内委員会、DOCOMOMO International、ICOMOS ISC20c、mAAN

協賛: 前田建設工業株式会社



JAPAN FOUNDATION  
国際交流基金

今日のアセアン諸国の発展は、目を見張るものがあります。しかし、急速な発展の影で、歴史的に重要な近現代建築は価値が定まる前に姿を失おうとしています。

この問題意識から、ドコモモジャパンと国際交流基金は共催事業として2015年11月に国際会議「日本とASEAN地域における20世紀遺産の現状と課題」を開催し、国際的議論のプラットフォーム「mASEANa Project (マセアナ・プロジェクト)」を設立しました。今年度はベトナムでの現地調査と国際会議「近現代建築のバイオニアたち」の報告を行います。あわせて、ル・コルビュジエ設計・国立西洋美術館の世界遺産登録の意義を再考し、アジアにおける近現代建築の固有性と普遍性を世界に向けて発信します。

会場: 国立西洋美術館 B2 講堂

JR 上野駅下車(公園口出口) 徒歩1分、京成電鉄京成上野駅下車徒歩7分、

東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅下車徒歩8分



コンタクト: info.docomomojapan@gmail.com

Supported by:



前田建設

- 10:00-10:10 ご挨拶  
松隈 洋 (ドコモモジャパン代表、京都工芸繊維大学教授)  
伊藤 正伸 (国際交流基金)
- 10:10-10:20 祝辞  
André Aranha Corrêa do Lago (駐日ブラジル連邦共和国大使)
- 10:20-10:30 企画趣旨  
村松 伸 (東京大学教授、mAAN 共同代表)  
司会進行: 亀井靖子 (ドコモモジャパン)

### セッション1 アセアンと日本の近現代建築のバイオニアたち

- 10:30-11:10 世界のバイオニアとしての丹下健三  
藤森 照信 (東京大学名誉教授)  
ベトナム建築のバイオニア レ・ヴァン・ラン: その人と作品  
Truong Ngoc Lan (ベトナム国立建設大学講師)
- 11:10-11:30 インドネシア建築のバイオニア シラバン: その人と作品  
Setiadi Sopandi (建築家、ペリタハラバン大学講師)
- 11:40-12:00 カンボジア建築のバイオニア モリヴァン: その人と作品  
岩元 真明 (建築家、九州大学助教)
- 12:00-12:20 ル・コルビュジエの日本人弟子たち  
松隈 洋

### セッション2 アセアンと日本の近現代建築遺産: 価値と可能性

- 13:50-14:30 ル・コルビュジエと私  
横 文彦 (建築家)
- 14:30-15:00 アジアのモダン・ムーブメント・世界遺産登録活動を通して  
山名 善之
- 15:00-15:30 グローバルに見た近現代建築遺産:  
ブラジル、ポルトガル、アフリカ、そしてアジア  
Ana Tostões (DOCOMOMO International 理事長)
- 15:30-16:00 アセアン近現代建築遺産プロジェクトの意義と可能性  
Johannes Widodo (シンガポール国立大学准教授)
- 16:10-16:30 ハノイの近現代建築: 現状とその価値  
Nguyen Manh Tri (ベトナム国立建設大学講師)
- 16:30-16:50 ホーチミン市の近現代建築: 現状とその価値  
Vu Thi Hong Hanh (ホーチミン市建築大学講師)
- 16:50-17:30 パネル・ディスカッション:  
mASEANa Project の意義と評価、そして今後  
Ana Tostões, Johannes Widodo, Truong Ngoc Lan,  
松隈 洋, 村松 伸, 山名 善之